

# 第 63 回東邦医学会総会プログラム

平成 21 年 11 月 12 日(木) 午後 1 時～5 時 05 分

平成 21 年 11 月 13 日(金) 午後 1 時～4 時 15 分

東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1)

11 月 12 日(木)

開会の辞

東邦大学医学会運営委員長 杉田 稔

当番教室：生化学 / 大森産科婦人科

## A. 一般講演

(発表：各 7 分，質疑応答：各 2 分)

**座長：坪井康次教授**(心身医学)1～2 席 (1:00-1:18)

1. うつと人格特性の関係についての研究(7 分)

島田涼子(心身，公衛)，小田原幸，端詰勝敬，坪井康次(心身)

村林信行(心療内科アーツクリニック大崎)

2. 再発を繰り返した超高齢者の慢性硬膜下血腫の 1 例(7 分)

福島大輔，榊田博之，植草啓之，近藤康介，根本匡章，狩野利之，周郷延雄(1 脳)

**座長：館田一博准教授**(微生物・感染症学)3～5 席 (1:18-1:45)

3. マウス内因性緑膿菌敗血症モデルにおける乳酸菌の防御効果に関する検討(7 分)

菅澤康幸(微生物・感染)

4. フォーミュラ食が内臓脂肪および糖脂質代謝へ与える影響：Zucker fatty rat を用いた検討(7 分)

山口 崇，番 典子，川名秀俊，永山大二，南雲彩子，大平征宏，齋木厚人，遠藤 溪，小出信澄，

小山朝一，宮下 洋(佐倉糖内代謝セン)，渡辺 仁，渡辺房子(佐倉臨検)，

白井厚治(佐倉内科)

5. 腸管由来 MRSA 敗血症マウスモデルにおける死亡率に対するエンドトキシンの関与(7 分)

浦松雅史，炭山嘉伸，草地信也(3 外)，館田一博，宮崎修一，山口恵三(微生物・感染)，

渋谷和俊(大森病院病理)，堀野哲也(東京慈恵会医科大・感染制御)，

田邊雅章(佐倉内科)

## B. 特別講演

**座長：住野泰清教授**(大森消化器内科) 6 席(1:45-2:15)

6. 膵胆道疾患に対する内視鏡治療 - 現状と新展開(30 分)

内科学講座(大森)消化器内科教授 五十嵐良典

**座長：根本 博講師**(大橋神経内科) 7 席(2:15-2:45)

7. Guillain-Barre 症候群と実験的自己免疫性末梢神経炎(30 分)

内科学講座(大橋)神経内科教授 藤岡俊樹

## シンポジウム 1 (2:45-4:05)

企画：新生児 / 心身医学

### シミュレーション教育の工夫と現状

座長：盛田俊介教授(臨床検査医学)，並木 温准教授(大森循環器内科)

- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. シミュレーション教育の意義と重要性 (15分)    | 並木 温(大森循内)           |
| 2. 本学のシミュレーション・ラボの現状と計画 (15分) | 大石道夫(教育開発室)          |
| 3. 救急領域におけるシミュレーションの活用 (15分)  | 本多 満(総診)             |
| 4. 看護領域におけるシミュレーションの活用 (15分)  | 小堂弘子, 伊東和子(看護部看護管理室) |
| 5. 臨床検査部におけるシミュレーションの活用(15分)  | 土井範子(大森臨検)           |

## シンポジウム 2 (4:05-5:05)

企画：生化学 / 大森産科婦人科

### 卵から胎児へ：発生を決定する環境と条件

座長：山下 茂教授(生化学)，森田峰人教授(大森産科婦人科)

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. 母体の栄養状態と胎児発育 (30分)   | 青木千津(大森産婦) |
| 2. 着床前期胚の遺伝子発現調節機構(30分) | 村井 晋(生化)   |

11月13日(金)

当番教室：新生児/心身医学

C. 平成 20 年度プロジェクト研究報告

(発表:各8分, 質疑応答:各2分)

**座長: 山下 茂教授**(生化学) 1~4 席(1:00-1:40)

1. アフリカツメガエル卵抽出液における xBid のアポトーシス促進活性とユビキチン化 (8分)  
土屋勇一(生化), 齋藤智博(佐倉産婦)
2. SPB 構成因子 cdc31p による DNA 複製開始制御機構の解析(8分)  
中林 修(生化), 深谷 暁(佐倉産婦)
3. ヘムタンパク質の電子構造と機能を解明するための  $^{13}\text{C}$  NMR 法を用いた新規プローブ開発: ミオグロビンケース(8分)  
池崎 章(化学), 中村真樹(生物)
4. DSB 修復時に DNA ミスマッチ修復タンパクと関わる因子の同定(8分)  
李 傑(分生), 金澤真作(大森放射)

**座長: 高松 研教授** (細胞生理学) 5~6 席(1:40-2:00)

5. 新規 S100 様カルシウム結合蛋白質の機能解析(8分)  
三輪尚史, 花上まゆ(細胞生理)
6. リン酸カルシウム多孔骨ペーストの基礎的検討(8分)  
酒井敦子(大橋形成), 荻野晶弘, 平田晶子(大森形成)

**座長: 宮崎修一准教授**(微生物・感染症学) 7~8 席(2:00-2:20)

7. 健常ヒト好中球機能の年齢における変化(8分)  
三井一賢, 小嶋靖子(1小児), 和泉春香(大森血液・腫瘍)
8. MDRP に対する院内感染防止対策: 疫学調査から治療戦略まで(8分)  
吉澤定子(大森感染管理), 佐々木陽典(総診)

**座長: 島田英昭教授**(一般・消化外科) 9~11 席(2:20-2:50)

9. LAK 療法と分子標的薬剤の併用効果 (8分)  
土井範子(大森臨検), 竹下直樹(大森産婦)
10. 腫瘍脳転移初期病変における遺伝子発現プロファイル解析(8分)  
齋藤紀彦, 平田容子(2脳)
11. 卵巣癌における抗癌剤耐性と治療選択に関する検討(8分)  
山本泰弘, 福田麻実(大橋産婦)
12. 自己免疫疾患におけるケモカイン CCL19 と CCL21 の役割  
(平成 21 年度東邦医学会賞受賞のため発表は割愛)  
桑原 卓(免疫), 河原和俊(佐倉皮膚)

## D.平成 21 年度東邦医学会賞

選考経過報告(杉田選考委員長)(2:50-2:53)

授賞式

受賞記念講演

座長:垣内史堂教授(免疫学) 13 席(2:55-3:15)

13. CCR7 ligands are required for development of experimental autoimmune encephalomyelitis through generating IL-23-dependent Th17 cells (20 分)

免疫学講座 桑原 卓

## E.平成 20 年度医学研究科推進研究報告

(発表:各 15 分,質疑応答含)

座長:垣内史堂教授(免疫学) 14~15 席(3:15-3:45)

14. 副腎皮質刺激ホルモンはラット副腎髄質 PC-12 細胞でのカテコラミン産生を刺激する(15 分)  
廣井直樹(大森糖代内)
15. リポソーム表面結合抗原がクロスプレゼンテーションされるメカニズムの解析(15 分)  
田中ゆり子(免疫)

座長: 山口恵三教授(微生物・感染症学) 16~17 席(3:45-4:15)

16. 多形核白血球サブクラスの機能(15 分)  
宮崎修一(微生・感染)
17. 超高速 LC/MS 分析を用いたベンゾジアゼピン系薬物の迅速・高精度スクリーニング法の開発(15 分)  
寺田 賢(法医)

閉会の辞 \_\_\_\_\_ 東邦大学医学会長 黒田 優

- 注1) 一般講演,プロジェクト研究報告,医学研究科推進研究報告,の演者の先生は,必ず総会当日までに「雑誌掲載用講演抄録」(400 字程度)と「\*Keywords」(英語 3 語以内)を出力紙とデータ(FD・CD-R・USB 等)を受付にご提出になるか,e-mail 添付でお送りください(E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。\* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので,適切な用語を選んで下さい。
- 2) 企画講演の先生は,総会当日より 4 週間以内に 3200 字程度に総説としてまとめて提出してください。
- 3) 特別講演の先生は,総会当日より 4 週間以内に 4000 字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
- 4) 東邦医学会賞受賞の先生は,総会当日より 4 週間以内に 2000 字程度に用紙をまとめて提出してください

注:1)~4)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。2,3,4 につきましては,詳細を受付におたずねください。